

台北日本人学校（2018～ ）  
下関市立一の宮小学校 新内 俊允

## 台北日本人学校オレンジだより①

一の宮小学校の皆さん、お元気ですか。この4月から台湾の台北日本人学校という場所で働くことになりました、新内先生です。これから、時々、台湾や台北日本人学校の様子を皆さんにお伝えしていきたいと思います。

# 台北日本人学校ってこんなところですよ

## その1 「台北の場所」



皆さん、台湾がどこにあるか分かりますか。また、台北市がどこにあるか分かりますか。先生は、台北市の中の天母(テンム)という場所に住んでいて、そこに日本人学校もあります。

台湾は、日本にとっても近い場所にあります。福岡空港から飛行機を使うと2時間半くらいで台北に到着します。沖縄にとっても近い場所にありますよ。

## その2 「台北日本人学校」

台北日本人学校は、小中一貫校で、中学生のお兄さんお姉さんも一緒に校舎で学んでいます。小学生が579名、中学生194名の合計773名の学校です。先生は、66名もいます。

また、小学1年生から、中国語英語の授業があり、みんな楽しく外国語の学習を受けていますよ。



台北や台北日本人学校について、少しでも伝わったでしょうか。日本とは、違うところがたくさんあります。これからも、一の宮小学校とは違う点を中心に、台北や台北日本人学校について紹介するので、お楽しみに。

# 台北日本人学校オレンジだより⑥

発行日：平成31年2月11日

発行者：新内俊允

大家好！（みなさん こんにちは！）

日本では寒い日が続いていることでしょうか。こちら台湾でも今が一年で一番寒い季節です。それでも温かい日なら27度くらいあり、下関の5月の気温と同じくらいです。先生はいつも半そでですごしています。

前回に引き続き、今回も台湾のお正月について紹介します。

## 台湾では旧暦のお正月で新年を祝う！

ちょっとむずかしいですが…旧暦というのは、私たちがいつも使っているものとはちがう別のカレンダーだと思ってください。

今年の旧暦のお正月（春節といいます）は、2月5日でした。去年は2月16日。そう！毎年変わるのです。

お正月の前後は、学校や仕事も休みになります。台湾の人たちは、このお休み中にふるさとに戻ったり、旅行を楽しんだりします。

大みそかには祖先をおがみ、家族そろって一年で一番ごうかな食事（年夜饭といいます）を食べます。子どもたちは家族や親戚などから紅包（ホンバオ：日本のお年玉）をもらう習慣があります。

お正月の過ごし方は、日本とにっていますね（^^）

シンニエンクワイラー  
新年快樂！

あけまして  
おめでとうございます

「福」の字、逆さまと思ったブヒ？でも、これで正解なんだブヒ！

「福＝幸せ」を天から神様がくださるという意味で、この向きになってるんだブヒ！



## お正月の飾りつけは 赤と金！

台湾では、おめでたい色は赤と金とされています。お正月のかざりも、お年玉のふくろも、みんな赤と金！



デパート



家の飾り



紅包（お年玉の袋）

## 爆竹（花火）や赤色でお祝いするのは…怪物をやっつけるため！！

その昔、お正月のころに田んぼや畑を荒らす怪物が現れ、人々を困らせていました。この怪物を人々は「年」と呼び退治しようがんばりましたが、うまくいきませんでした。

しかし、そんな「年」にも苦手なものがあり、それが火と光、そして赤色だと分かりました。そこで、人々は玄関に赤い紙を貼り、昼も夜も花火を鳴らし続けました。こうして、お正月の頃に現れる怪物をやっつけることができたのです。

「年」というわざわい（良くないこと）を乗り越え、無事に新年をむかえることを、台湾では「過年」＝「年が過ぎる」といいます。爆竹や赤色を使ったにぎやかなお祝いの仕方は、人々の幸せを願う気持ちの表れですね(\*^\_^\*)